

日本ビルマ文化協会報

(第二号)

発行所
日本ビルマ文化協会
大阪市南区長堀橋筋2-28
電 06-213-5858
発行兼編集人
小合隆英・保科賢一

特別頒布
ビルマ地図 (250円)
ビルマ語会話集 (300円)
〒55円
申込先
大阪市南区長堀橋筋2-28
日本ビルマ文化協会
振替口座大阪310039
取引銀行 日本一 支店
三和銀行

巻頭のご挨拶

当協会発足以来半年を経過した、現在直面している諸案件中最も優先的に全会員が熱意を以って努力して行かねばならない、重要事項を取り上げて諸兄の御披見を乞ひ御協力を切望致します。

商法の常識を今更此処に申述べの必要はありませんが商売の拡張発展を期するには運転資金の確保が必須条件で運転資金を得る為には顧客を増やし売上げ増加による利益率の伸張を考えると、其の他のが、通常商売には銀行、其の他の金融機関より融資を受ける便法があります。当協会は事業「らしい」事を始める為には資金が余りにも貧弱で、他に便法とてなく一部有志会員の寄附金は基金として凍結状態にある現在、会員納入の年度会費により運営されるわけに現会員二百余名が完納したとしても、諸経常費の残額を以って種々の事業を一度に考えることは不可

能に近い実情にあります、従って目下の急務は先ず現有会員数を飛躍的に増加させ年度会費の完納を期する事にあります。

次に協会の事業に就ては協会の資金がある程度確保された段階で、各事業毎に担当役員のパランに基き活発に実施されたいと存じますが、前述の理由により取あえず協会として為すべき事業は会則第四条の各項から達く後退致しますが「協会運営資金の獲得を図る事業」でなければならぬと考えます。今回大阪外大の大野先生の格別の御協力を頂き編集発行致しました「ビルマ語会話」は誠に其の内容を得て正確且つ価値ある小冊紙ですが之を全会員及其の関係者に広く頒布する様、推奨して頂くことが僅かながら前述の目的達成に合致するものであります。新会員の獲得の為に協会の宣伝広報が肝要ですが、本冊紙の頒布は

一石二鳥の効果があると存じます。協会自体の資金作りの事業以外鳴かず飛ばずでは一時的にせよ協会の存在価値を失うこととなるので細々ながら会則第四条の一部の事業は勿論続けるべきだと存じます。

発足以来熱心な会員有志から事業に付て種々御高見を頂き紙面をかり厚く御礼申し上げますと共に先述の様に協会は未だ内容整備された会であると断言できる段階に至つて居りませんので折角の御高説も残念ながら目下机上に「プラン」として積みおかれていた事情を申し上げ御了承を得たいと思えます。

以上要約致しまして目下全会員が重点指向して頂きたい事項は新会員獲得の会員倍增(倍々増)計画の実行と「ビルマ語会話」の推奨頒布で、協会が発足以来逐次ビルマ関係者に理解を深め宣伝され其の存在価値が認められつつある現在会員諸氏の絶大なる御協力を切望して止みません。

以上

朗報!!

ビルマ大使閣下と高級武官 当協会々員に入会

現ビルマ大使ウ・チーコッコ閣下と高級武官トン・ター大佐殿等ビルマ側に当協会会員として正式にご参加願いたいと全会員が等しく熱望して参りましたが、ビル



マの国情等の関係もあつて早急には望み得ないことと半ばあきらめてきましたが、去る七月末日挙行された日緬交歓パーティーに出席の為上京した、酒井副会長、塔本理



事が高橋八郎氏を通じ懇請致しました結果、高橋氏の熱意あふるるお力添えにより、思いがけなく入会して頂くという意志表示がありまして、当協会としても喜んで大使閣下を名譽顧問に、高級武官を顧問としてお迎えすることになりました。この事に依り協会の格式も一段と向上、誠に喜ばしいことと思えます。

京都大丸百貨店に於て

協会の宣伝活動実施!!

昭和四十七年八月九日より十五日迄一週間に亘り大丸百貨店京都店に於て、日本印緬戦跡慰霊団、南

大平洋友好協会及比島方面慰霊団の共催のもとに「戦跡展」が開催

され当協会も文化活動及宣伝活動の為積極的にこの行事に協賛した。

会場にビルマの堅琴をはじめ多数のビルマ民芸品を展示し来客に

対しビルマ地図、ビルマ語会話集等を頒布すると共に「チラシ」多数準備の上来客に手交し大いに協会が存在とその活動を宣伝しその効果も大なるものがあると思じて

日本ビルマ文化協会

東海支部総会議事録

開催日時 昭和四十七年六月四日午後一時より

会場 名古屋市内、名古屋国際ホテル

参加者

- 主催者側、小菅信一、石村卓、浅井時二郎、吉岡和雄、岩内健二、日比野省三、永坂三夫、羽田野貢、平松義一、小出実雄、土井次夫、吉田弥三郎、小川喜市、三輪義雄、丹下一男、岩田昌男、近藤鍾永、伊藤政広
- 留学生側、エーティン、ゾーウィン、サンメル、セイノウ、チチアウン
- 本部側、小谷隆英、塔本成幸、梅原保、以上合計二五名出席

総会次第

- 一、司会 岩内健二
- 二、開会の辞 石村 卓
- 三、地区代表あいさつ 小菅信一副会長
- 四、本部役員あいさつ 小谷隆英副会長
- 五、ビルマ留学、研修生紹介及あ

いる。(尚このチラシは本部に多数保管しているのでご希望者はご請求の上新会員の獲得などに役立てていただきたいと思います)

いさつ

エーティンー日本に居る限り私の気持も生活もすべて日本人と同じです。滞日中、日本の文化を沢山吸収して帰りたい。ゾーウィンー製造を学んでいませう。日本は大変寒く雨も多い。サンメルー日本を祈ります。チチアウンー名大の数学科で微分幾何勉強中、日本はビルマと同じで生活の毎日が楽しい。

六、出席者自己紹介

梅原保 協会の計理業務担当元ラングー司令部管理部勤務
小谷隆英 薬局経営、林マンダレー貨物販勤務、終生の念願たる戦没者慰霊業務に大に関係ありとして協会に入会す。
塔本成幸 発起人の一人として当協会の発足に当り責任の重大さを痛感す。

町工場経営、当時BIAに属しビルマ兵士として活動し、後、方面軍参謀部転属
石村 卓 陸士三五期、二八軍直轄タンナップ駐在、船泊工兵、現在大林組直系佐藤組所

属、舗装業務専門
浅井時二郎 三七五一所属、よろしく
吉岡和雄 同三七五一所属、慰霊の為にも頑張りたい、現在印刷業
岩内健二 四〇年より二年間ラングー日本人学校勤務、当協会設立の趣旨に賛同入会す、ビルマ資料多々有、希御活用、

小菅信一 三七五一所属、終始アラカン地方駐留、ビルマ人への恩返しの意味にて率先入会す、現在自動車部品製造業

日比野省三 戦争中私は子供でした、名大電子工業卒業、米独四年留学、現在中大及名大にて教鞭をとる、技術を展し能率を上げんとする為の教育のシステム或は知的生産の能率化をテーマとす。協会に積極的に参加したい、
永坂三夫 医者開業中、烈インパール作戦従軍、ビルマ大衆に感謝す。
次の代を担う者が多数参加し両国の文化提携に貢献したい。

羽田野貢 一八年当時十五軍々医部々員インパール作戦直後内地転任し、現地に苦戦した協友に感謝の気持ちを捧げ大に協力したい。
平松義治 三七五一所属ビルマの美しき心と日本の豊富な物資とを交流し双方相携え合つて発展して行きたい、その意味で協会の存在は有意義である

小出実雄 8ミリ撮影機エルモ

の組立工場経営、昔のビルマの苦しい時代が懐しいラングーの近くで日本語学校の先生をしていたことがあり当時ビルマ人になり切つて生活していた、国境を超えてビルマ人と仲よくして行きたい。
土井次夫 内科医開業、三七五一所属、〇七兵站病院、五工兵司所属、ビルマが懐く協会誕生を喜び新規会員獲得に努力したい。

吉田弥三郎 三七五一所属、五年半アラカン地方駐留、アキヤブの手前にて河の舟の渡し守をしていたことあり、懐しく率先入会、昨年渡緬、公認会計士、私の特技を通し大に協力したい。

小川喜市 三七五一所属、自動車部品製造会社経営
三輪義雄 輻重輸卒として約五年ビルマ滞在、愛知県職員停年退職、ビルマとの関係を思い皆と同じ気持ちで入会す
丹下一男 三七五一所属、南星会、昨年ビルマ墓参行、ビルマ人と日本人は親しくなれる人種であると確信す、プラスチックの家庭用品製造工場経営、留学生諸君の見学大歓迎

岩田昌男 三七五一所属、南星会とは作戦中原隊より離れ方向を失つたとき南十字星に助けられ感謝の意を表し命名す、昨年渡緬す、民情昔と変らず温きものあるを感ず、協会を通しビルマの発展を祈る

近藤鍾永 三七五一所属、貸ビル経

営、協力致度
伊藤政広 42ー44ラングー日本人学校勤務、余暇にラングー税関員に柔道コーチす、現在小学校教員、平素の私の無意識な行動の中にも児童はビルマ臭を感じビルマ先生の愛称で呼ばれている。
七、留学生、研修生に対し記念品及お土産の贈呈あり
八、議案審議

(1)以後日本ビルマ文化協会東海支部と名付け静岡地区及三重地区を東海支部に併合するかどうかは両地区責任者の意向をたゞし他日決定発表す。

(2)支部会を原則として年一回開催することとし、臨時に決議を必要とする場合とか留、研修生の歓迎送別会等は随時之を行う
(3)質疑応答
塔本ー烈兵団の一部の人の居る北陸地方とか信州、新潟地方について東海支部としてどの様に考えらるるか。
小菅ー今の処考えていない
塔本ー現在の会員に應ずる割合振りをしただけですので将来新規入会員が増加すればその実情に合う様に処理したい。
平松ー会員数に目標とか地区別の割合振りがあるか。
小谷ー別にありません、どこかの地区でもよい、一人で多く獲得せんものど一生懸命頑張っており

小菅ー今の処考えていない
塔本ー現在の会員に應ずる割合振りをしただけですので将来新規入会員が増加すればその実情に合う様に処理したい。
平松ー会員数に目標とか地区別の割合振りがあるか。
小谷ー別にありません、どこかの地区でもよい、一人で多く獲得せんものど一生懸命頑張っており

ます。
小出―若い会員の獲得は特に必要なことではあるが若い人程会費負担能力が貧しいがこの点どうお考えか。

小谷―其の様な方の為にも会費のいらない賛助会員制度があります。

塔本―御説の通り若い会員の獲得の必要なことは協会の主要業務の一つとして決定事項で、今の処は取り敢えず縁の深い戦友を目標にし、次に戦友の家族、次に御遺族様、最後に一般人の順に行きたい。

社会的信用を得る為にも是非社団法人の資格も取りたいが若い会員が数多く居るかどうかもその審査の対象になるのでなんとかして若い人の入り易い会にする様極力経費を節減する等努力中です。

小出―会員の中には有力な実業家、企業家が居られるので留、研修生諸君に自分の企業の外に自分の家庭迄も見学勉強させてあげて欲しい。

塔本―現在作製済の趣意書は戦友向けの物ですが別に一般会員向けのものを適任者の意見を参考にし製作中です。

員迄も会報とか参考資料とか送り会員拡張に努力中ですが賛助会員の中には熱心ではあるが経費のやりくりがつかない向には(高校のクラブ活動の如き)クラブが一括して入会するとか或は当分会費の免除のことも真剣に考えねばならないと思っております。

又本部の計画といったしまして本日間に合いませんでしたが努めて機会を求め外大の大野先生にお願いし最近のビルマの実情等文化活動に意義のある講演会を開いたり、ビルマ関係の資料の方より拝借の資料のコピーしたものを頒布したり近々完成のビルマ語会話を集めておわけする等会員の皆様の喜こんでいたゞける様な仕事をしたいと考えております。

小菅―先般ビルマの船員が大阪港にて重傷を負い会員の手厚い看護の結果全快帰国の例もあり、留・研修生諸君が病氣されたときは会員の方々は(特にお医者さん)どうぞよろしく御配慮下さる様お願い申し上げます。

日比野―協会の事業計画に對

する希望に就て申し述べさせていたゞきたい。

ビルマに對し物資を贈呈することも結構なこととは存じますが既往の実績に依り之の種の事業はやゝもすると下部組織に迄物資が流れていかなないということを確認されて物資のみを贈るだけで事足りないとせず同時に知的な物を交流することも必要と思ひます、例ば交換留学制度の如く双方より「人」を交流して文化知識をお互に与え且いたゞく、人間をビルマ人の家庭に送り込むと同時に日本もその受入態勢を確立する。兩國が対等の立場で物を移動するのでなく、心を移動して欲しい。之こそ最も成果の上る文化交流と考えます。

塔本―誠に建設的な御意見で御希望に添うよう努力いたします。

当協会といたしましてはとり敢えず出来まことは先ずビルマを對象とした事業と、協会の会員の利益を目的とした事業が考えられます。然し何をすることも先立つものは「金」です、

協会の基礎を(会員数の増加、資金の蓄積)固めつゝ容易に出来ることから実行して行きたい。

(4) 途中梅原保會計担当理事より
今考えていることは小学生的の図画の交流に就てビルマ側担当者ニイ博士に直接交渉しようと思つています。然し何れにしても先方の喜こんで貰える様な計画でなければいけません。ビルマの国情から先ず考えて処置したいと思ひます。

日本ビルマ文化協会

関東支部総会議事

開催日時 昭和四十七年七月二十八日午後六時

会場 東京都九段、私学会館

参加者 主催者側、甲谷秀太郎、水口憲夫、松田正純、栗原栄一、宮内速雄、中財大雄、竹石美代志、本多宇喜久郎、竹ノ谷秋男、中津瀬游、佐藤賀弥、栗田敏夫、岡本かね、鴨崎仁彦、兄玉清、猪股重美、重松守、坂田泰、本部側、酒井栄一郎、塔本成幸、梅原保小谷隆英、以上二十二名。

総会次第
一、開会の辞 栗原栄一
一、地区代表挨拶、甲谷秀太郎
初顔合せの懇親の意味を含め

現会員数一九〇人、会費収入五〇万、寄附金収入一八八万、事業収入九万、あり既に輪転機代四三万支出済みで、現在 六六万の銀行普通預金 一〇〇万の定期預金 一〇〇万の郵便振替貯金 僅かな現金とを保有しあり、
所期の目的達成には会員数の増加拡張が目下の急務であり、早急に増加しないときには年会費の額の検討も考えねばならず、又法人組織を申請する為には五〇万より一、〇〇〇万の基金の必要であることの説明があつた。

て、前進する為の組織作りをする為本席を設けました。ご存じの通り本会は奉仕の精神に依りビルマとの関係を強化するのがこの会の根本理念であります。

この会の発展の如何は運営に依ること大ではあります。一方会員数の多少が運営を左右します。従つてこの問題、留研修生等の問題、組織の確立等が重要な議題となります。これ等のことについて逐次会員が地方各地に誕生するにつけ大阪の本部より直接連絡しているより、各地区毎に支部を設け各個に活動をしていただく様にこの関東地区に支部が

生れたものです。
一、本部代表挨拶 小谷隆英
支部は本部の命令に基き仕事をすると関係ではなくて、本部も支部も同じ目的にたずさわる同格な集合団体として、お互にその団体の地域的特殊性を活かして長短補い目的に密接なる連繫の下に本来の目的に向い進んで行きたいと思えます。

一、会員自己紹介

甲谷秀太郎 店は東京、家は京都貿易商、十五軍経理部、イラワジ会戦参加。
水口憲夫 日本火災上海支社より召集を受け星一ツより出発、仏印、タイ、昭南にて教育を受け

ビルマへ赴任、キヌ、マンダレー、キャウセ、コーカレーにて終戦
松田正純 東南アジア調査会勤務
安の参謀としてビルマ全土承知。

栗原栄一 飛行場有線通信中隊、トンゲー、メークテイラ勤務、巡拝の為渡緬、建築設計。
宮内速雄 初めより最後迄ラングーン兵站病院勤務。
中財大雄 主としてラングーン勤務、印刷業

本多宇喜久郎 高压ガス販売、祭歩六七、インパール本多挺進隊長、巡拝の為今春渡印緬、目下第二次巡拝旅行計画人員募集中

竹ノ谷秋雄 冷暖房関係業務、祭歩六〇情報
中津瀬瀨 リキニール製造会社工場長、独自四五大隊、スマトラより馳せ参じインパール作戦参

加 岡本かね メークテラにて玉碎せる一〇七兵站病院長の家内、昨年渡緬慰靈す。
鴨崎仁彦 岡山の産、終戦後仏教交換学生としてビルマに学び、ビルマ仏像を戴いて帰リ土浦市にビルマ山一証堂建立。
児玉 清 山一証券勤務、インパール作戦参加復員迄ビルマ滞在
猪股重美 山一証券勤務、コヒマ攻路部隊に応援に行き後退。
重松 守 祭部隊、防水請負業。
坂田 泰 中野学校出身、昆司令部所属ラシオ工作機関長、ビルマ方面軍司令部附。坂田貿易経営。

栗田敏夫 東京電力久喜営業所勤務、独自一〇一大隊、ラングーン、マンダレー。
次に塔本理事より協会の現況に就て
本年三月に誕生以来、国内各方面の戦友団体や一般団体有力者より、或はビルマ側の要人達より賞賛やら激励の言葉などが寄せられて協会の将来について大なる御期待を持たれておられますので、その身にかかる責任の重大さをヒシヒシと感じておりますが、如何せん非力にてラチあかず、穴あれば入りたい心境であります。特にビルマ大使閣下よりは、「現存する戦友会の一致統合、大同団結が望ましい」協会の将来に大いに期待している」とのお言葉もありそれはそれとして誠に結構な私達として当然なさねばならぬことで

はあると思えますが、然し現在の協会にはそれ程の力もなく且協会の本来の目的でもありませんけれども共行くは当協会に会員も増え、文化活動を通しその協力者が多数参加されて必然的にその機運が盛り上り、その結果皆様方のお力に依り団結が完成されれば之に勝る結構な話はありません。
協会の運営は会員の納入する年度会費のみにて賄はれており、この額の中相当額を事務的経費に充当して横の連りに乏しい為、協会内の一一致団結の為に会報、連絡等にも普通の戦友団体以上に経費を必要とします。この事務経費を控除した残金が協会の本来の目的である事業資金に充当されるわけで、その金額が充分なだけありませんので事業の内容もタカが知れておりますので、若し皆様の御努力に依り会員数が急激に増加されることでなければ協会の主張することと現実に行っていることに大なる空白を生じ協会としての面目を維持するのに困るわけです。
尤も先般第一回会報にもその片リンが出ておりました如く、本部としても事業成績の向上を急ぐあまり、現会員より寄附行為をお願いするが如き、文章を掲載するなどをしたことが結果的に逆効果をもたらした、之の会報をごらんになった方の新規加入を若干ためらったときらいがあつたのではなかつ

たかと、本部担当者としては反省いたしてはおります。
又このことは次の総会時、議題にかけて明白にするつもりですが、年度途中に入会された方が納入された会費三六〇〇は幾月迄有効かといふことで現会則としては年度変りのは八月末日を以て終了いたしましたので八月末直前に入会された方の会費の処置についても実情に副ふ如く且新規に入会し易い様に（例えば後半期入会者の会費は月割計算にする）案の如く処置したいと考えております。
次にビルマ留学、研修生に対する取扱ひに就て申し上げますと、之もれつきとした会の事業の一つであります以上この扱ひに関する、規定方針並その細部の要領等を定め、且必要な経費も捻出計上して本部、支部を通して公平に扱はれるべき性質のものではありませんが、何しろ誕生以来、日浅く且運営資金もその方へ廻り兼ねる現状でありますので、も一つはつきりした態勢が確立してはおりませんが、既に志ある一部の方々に依り協会誕生以前より引続き、その方個人のお力に依り何かと、お世話をしていただいております事実は、誠に結構なありがたい事と存じます。又切角個人で誠意を以てお世話しても、それが立場が違う人達よりとかく批判されることもあるやりに聞いておりますが、どうぞ大使館の意見にもある如く、努めて不公平にならない様、物質面も結構ですかそれ以上に精神面に於ても何分よろしくご配慮願

たいと存じます。
留学、研修生の世話をなさるにしても、衣食住に直接関係ある事以外にもいろいろあると思えます。例えば日本の高校、大学内に最近段々と新しく誕生しつつある東南アジア関係の研究サークルと留学、研修生との交流についての橋渡しの世話話、ペンフレンド的な活動の世話話とか或は会員の方の中には沢山の医業にたずさる方々がおられますが、彼等留学、研修生が若し異国に病んで困っている場合のお世話の態勢の確立、又会員中には工場、製作所等経営しておられる方々も多い様お見受けしますのでその方達は自分の会社工場の見学、高等技術の教示等を、教育文化方面に興味の深い方は、彼等を案内して文化的教養の育成向上にお手伝いする外、日時をきめてハイキング等にさそひ直接日本、ビルマ語を語り合い互心のキズナをかため合う等々。
以上の様にいろいろの事は申上げるのにも易いことで之を實行なさる方々にとりましては夫れ相應の費用もかかり時間的にもこの努力、お気遣ひの点に於ても仲々大変なこととは存じますが何分よろしくお願い申し上げます。
次に昨日大使館にてお聞きしてきたことですが、最近日本の青年層グループに依る、ビルマ現地への慰靈巡拝旅行団がありまして相対彼等は純粋な気持ちで現地を訪れ慰靈巡拝する傍元日本軍戦没者のご遺骨迄蒐集持ちかえり大い

たいと存じます。
留学、研修生の世話をなさるにしても、衣食住に直接関係ある事以外にもいろいろあると思えます。例えば日本の高校、大学内に最近段々と新しく誕生しつつある東南アジア関係の研究サークルと留学、研修生との交流についての橋渡しの世話話、ペンフレンド的な活動の世話話とか或は会員の方の中には沢山の医業にたずさる方々がおられますが、彼等留学、研修生が若し異国に病んで困っている場合のお世話の態勢の確立、又会員中には工場、製作所等経営しておられる方々も多い様お見受けしますのでその方達は自分の会社工場の見学、高等技術の教示等を、教育文化方面に興味の深い方は、彼等を案内して文化的教養の育成向上にお手伝いする外、日時をきめてハイキング等にさそひ直接日本、ビルマ語を語り合い互心のキズナをかため合う等々。
以上の様にいろいろの事は申上げるのにも易いことで之を實行なさる方々にとりましては夫れ相應の費用もかかり時間的にもこの努力、お気遣ひの点に於ても仲々大変なこととは存じますが何分よろしくお願い申し上げます。
次に昨日大使館にてお聞きしてきたことですが、最近日本の青年層グループに依る、ビルマ現地への慰靈巡拝旅行団がありまして相対彼等は純粋な気持ちで現地を訪れ慰靈巡拝する傍元日本軍戦没者のご遺骨迄蒐集持ちかえり大い

たいと存じます。
留学、研修生の世話をなさるにしても、衣食住に直接関係ある事以外にもいろいろあると思えます。例えば日本の高校、大学内に最近段々と新しく誕生しつつある東南アジア関係の研究サークルと留学、研修生との交流についての橋渡しの世話話、ペンフレンド的な活動の世話話とか或は会員の方の中には沢山の医業にたずさる方々がおられますが、彼等留学、研修生が若し異国に病んで困っている場合のお世話の態勢の確立、又会員中には工場、製作所等経営しておられる方々も多い様お見受けしますのでその方達は自分の会社工場の見学、高等技術の教示等を、教育文化方面に興味の深い方は、彼等を案内して文化的教養の育成向上にお手伝いする外、日時をきめてハイキング等にさそひ直接日本、ビルマ語を語り合い互心のキズナをかため合う等々。
以上の様にいろいろの事は申上げるのにも易いことで之を實行なさる方々にとりましては夫れ相應の費用もかかり時間的にもこの努力、お気遣ひの点に於ても仲々大変なこととは存じますが何分よろしくお願い申し上げます。
次に昨日大使館にてお聞きしてきたことですが、最近日本の青年層グループに依る、ビルマ現地への慰靈巡拝旅行団がありまして相対彼等は純粋な気持ちで現地を訪れ慰靈巡拝する傍元日本軍戦没者のご遺骨迄蒐集持ちかえり大い

に現地の人と文化的交流の使命を果してこられたとかで誠に結構なこと、この人達も大いに当協会の仕事の上で有力な対象となり得ると思います。

最後にになりましたが、一つ大切なことを申し上げます、最近特に会員の中より前向きな、非常に建設的な、お心のこもった内容のご意見が本部当事者宛によせられて、協会はこのような方向に進むべきだ、協会の様な仕事を熟に入れるべきだ、協会の仕事はこの様な考えのもとに実施せられるべきだ、

といった誠に結構なご意見があり私達を常にご鞭撻下さいますことにはありがたく今後共この種のご意見はどしどしお寄せ下さいませ、お願い申し上げます。然し世の中のことは何をするにも「先立つものは金」で応分の資金なしには切角寄せられたご意見も実行に移し得ないことは誠に残念で、資金(会員数の増加)と事業とは不可分の関係にあり、事業が軌道にのる迄の苦しみの中であへいて居るとい

うのが現状で、協会が現在実行しつつあって大変成績も評判もよい事業に「ビルマ語の会話集」の頒布というのがあります。同じ事業と申ししましても協会が表面切って、申し上げております事業と比べればとるに足らぬものではあります、この会話集頒布に依る収益金にて協会の当面している事業がとり敢ず達成されますので、大いにこの頒布についてご努力お願いいたしたいと存じます。

価格の安いこと、内容の豊富、適切なことからいってビルマに關係のある人におすすめるれば必ずお求め願えるものと自負しております。すればどうぞご遠慮なく戦友会などを通してご拡売下さい。

(本部より十冊以上まとめてお送りするときは送料は協会負担となり、之を受取られた会員が注文主宛郵送するときはその送料一冊分五円は買主負担となります)

一、会計並会則に就て報告

梅原 保

一、関東地区の運営方針検討

○総会、懇親会開催(定例三ヶ月に一回)

○会員増強運動に積極参加

○在京留學、研修生の世話

○運営委員会構成決定

委員長 坂田 泰

副委員長 山里 将一

総務委員 水口 憲夫

会計委員 岡部長太郎

渉外委員 山口 義春

山里 将一

栗原 栄一

水口 憲夫

恵夫

水口 憲夫

恵夫

水口 憲夫

恵夫

水口 憲夫

恵夫

水口 憲夫

恵夫

水口 憲夫

恵夫

水口 憲夫

恵夫

東海支部の出席報告あり

皆本理事より新会員の獲得要領について議案提出あり討議の結果、正木会長の体験談として書面にて新会員勧誘の場合、誰れ彼れなしに郵送するを避け先ず知人に対し入会してくれ相家人の紹介を求め、然る後その人に書面にて勧誘するを可との提案の外に、当協会の業績を上げる

こと其のものが新会員獲得に連なるものであること全員了解しお互に努力を約す。

将来を担うべき若い会員の獲得に当っては相手方の実情を協会の方で正しく判断した上で、会費の徴収を免除することが出来る様に規則を改正する事に意見の一致をみた。

二、岡本(健)、岡本(健)両理事より、現在の業務分担及其の陣容を以てしては、会則第四条に示す事業の責任の限界が不明瞭で且勤務力も不均衡となるという提案に基き近々関係者間でその為の委員会を設け検討する必要を全員が認めた。

三、会員の慶弔の場合の取扱いに就ては

。「慶」の場合には会からは何もしない

。会員死亡の場合、弔電発送又は(梅杖)

留・研修生死亡の場合弔電の外香尊を贈呈することを得

留・研修生傷病入院の場合その状況に依り舞等適宜処置することを得

。之の外協会との関係ある他の

団体との具体的交際に就ては其の都度実情に添う如く臨機処置するものとす。

三、ビルマ語会話の手引きなる小冊子は三〇〇〇部注文製作するに決定

四、両国の児童間にて図画を交換展示し合うという企画を皆本理事より提案あり、検討の結果実現せしむる目的にて更に前向きに検討することとす

五、一般人向けの趣意書の文案も広く一般会員中適任者の意見をとりに入れ更に検討す

理事会終了後外大、大野先生より「ビルマに於る新行政機構と新憲法草案に就て」と題して講演があった。

基金並に運営資金

特別寄附的芳名(八月三日現在)

左の方々より夫々次の如く寄附がありましたのでご紹介申し上げます

と共に厚くお礼申し上げます

ビルマ地図二〇〇枚岡本富太郎

三万円 岡本 健蔵

三万円 加護野忠太郎

三万円 宇野 芳雄

三万円 浅田 信次

三万円 中財 大雄

三万円 山添 治

三万円 平塚 実堂

三万円 内田 健

三万円 宮原 攀

三万円 菊地 幸雄

三万円 松倉 紹英

三万円 藤川友紀乃

三万円 服部 正一

三万円 大倉 義市

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

三万円

一万六千四百円 正木 清忠

五千円 井上重四郎

一万五千円 馬場 新平

一千円 壬子田孝志

四百円 伊福 満男

百五十円 木本 俊齊

三万円 多田 光徳

三万円 総務部

一万一千二百八円 浜北 吉雄

五千円 三八ビルマ会某

一千円 大川 貢

六千四百円 橋本清三郎

五千円 増倉 唯一

二千円

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

増倉 唯一

茂元、正木美智子、上向奈良男、安成維良、小山茂、平田力、綾部勲、松久保秀胤、大橋要人、村田豊次、片山宏、岡山勇、中川収平、青砥泰信、宮崎敏郎、小倉武、野田英雄、田辺治之、高木章

日緬親善及文教、経済視察団編成、

団員募集中!!

一、日時 一九七三年一月七日(日曜日)より一月一六日(月曜日)まで

二、訪問先「ランゲーン」地区(三日間)「タモエ」墓地参拝外「ペグラー」「バガン」等文化経済関係を中心とした視察及親善交流。「マングレー」地区(三日間)「モクック」「モガウン」「ラシオ」「メーミョウ」等の各地

文教並に経済関係視察及び親善交流。「チェンマイ」「バンコック」「香港」各一泊後帰国。

三、費用 約三十万円以内(ローンの利用可)

四、その他 細部のお問合せは協会本部へ。申込の方に詳しい、「スケジュール」及手続き用紙等送ります。

五、視察団準備委員 酒井栄一郎 甲谷秀太郎、馬淵祐一、保科賢一、岡本健蔵、内田健、梅原保三、井航空一、ビス株式会社

「インパール」の慰霊碑建立運動に協会も総力を挙げて協力!!

既報協会の臨時会報にも述べま

した通り今春インパールを戦後初めて訪れた「戦友慰霊団」四十二名(之の中一六名は当協会員)の人達の発起に依り「インパール慰霊碑建設準備世話人会」が結成され、日本及印度両政府を動かすべくとり敢ず拾万人署名請願運動が展開中です。

当協会も双手を揚げて協力すべきこととし、細部について臨時会報にてご説明申上げましたが、各会員におかれましても既にお送り申上げました、署名用紙に家族、知人、戦友等の署名を求めこの運動に参加していただく様お願い申上げます。

特別会員、荻原、大野両先生ビルマ総合学術調査団に参加!!

ビルマ政府及日本、文部省、外務省の特別の厚意に依り世界で最初の組織的な学術調査を今後三年間に亘って左記の如くビルマ専攻学者の精鋭を糾合し実施されることとなり、

当協会特別会員荻原弘明先生、大野徹先生もその隊に正式メンバーとして参加し、ビルマ及其周辺地域の考古学、歴史学、宗教学、言語学、その他文化人類学的立場よりの総合調査を実施することになった。

- 一、隊員構成
- 隊長 荻原弘明(鹿児島大学学教授)(当協会特別会員)
- 副隊長 長沢和俊(鹿児島短大教授)
- 隊員 大野 徹(大阪外

大助教授)(当協会特別会員)

〃 敷 司郎(東京外大 A・A助手)

〃 生野善広(東大大学院学生)

二、期間 昭和四十七年十一月三日より昭和四十八年三月三十一日迄の予定

会員自己紹介

(親睦の為に先ず相手を知ることであり、その為にはそれ先立って自己紹介の必要を感じます。

以下の如き要領にて、ご投稿をお願い申上げます。

一度紹介済みの方でも所見、偶感希望等あれば再度ご投稿下さい。

中津瀬 游 独立自動車四五大隊(南想会)ビルマは19・3・21・7間在住。アキヤブ方面を除いて殆ど走り廻りました。薬剤師・調査師にて現在洋酒・薬品・飲料水の製造をして居ります。東菱醸造は東京・奥多摩・青梅・東菱醸造です。

貝塚 悠 戦時中第十五軍二六野戦防疫給水部の一軍医として、インパール作戦に参加しました。ベスト、コレラ等の防疫を通じてビルマの多くの人々に接しました。撤退途上も親切なビルマの方に助けられました。現在浜大津にて耳鼻科を開業しています。

甲谷秀太郎 経理部予備士官学校から十五軍経理部付となり十九

年七月赴任、インパール撤退作戦に参加メークテラ防衛戦に生残りモルメンにて終戦、現在貿易商社経営中、家族娘二人息子一人京都に在住、京都東京を往復する生活です。

高橋輝嘉 私は昭和十八年から二十一年五月迄船乙十一連隊材料廠附としてビルマに従軍し復員後保健飯料ヤクルトの大阪地区の処理販売会社の社長を昭和四十一年迄務め現在クロレラ及植物蛋白を主軸とする自然食の普及に努力中。

井上吉蔵 五一才、京都府網野町島津に在住、雑貨商経営、戦時中は勇共団(第二師団衛生隊)に属しイラワジ合戦に従軍、昭和四十七年一月、日本印緬戦跡慰霊団に参加、ビルマ各地を巡拝し感激を新たにした。ビルマの人々はとても親切でした。

年七月赴任、インパール撤退作戦に参加メークテラ防衛戦に生残りモルメンにて終戦、現在貿易商社経営中、家族娘二人息子一人京都に在住、京都東京を往復する生活です。

新刊書紹介

「ビルマの社会と経済」 大野 徹著 五〇〇円 購買お申込を直接左記へ 発売所 アジア経済研究所 (東京都新宿区市ヶ谷 本村町四二)

浜北吉雄 伊勢の国は鈴鹿の産伊勢湾に舟を浮べ魚を取り海苔を作る安兵団一五一連隊一中隊で伍長、二男一女で家族五人、読書が好きだ。馬鹿堅いが故に地漁協の勘定方受給る十二年徴集の五十六才。

生を得た事あり、貧者の一燈ですが最後までお返ししたい。安成維良 ウ号作戦前シュエホに療養所を開設した時ウ・トン・ペーと云うクリスチャンの大精米業者が自分はノーペトルだからと云って私にオースチンを寄贈して呉れたので早速それに乗って明妙百七兵病本院迄何度か往復した事を想い出して感謝して居ます。元百七兵病軍医 大尉 棚 久 大正六年台湾台中市出生、台中二中台北高商大阪商大昭十六年卒、ビルマ方面軍自動車廠付主計中尉で昭十八・二十一年在緬、二男一女あり。青木建設東京本社勤務。読書映画。ビルマ人のよい処、花が好き、食物の接待、洗濯好き。

岡本健蔵 四九才、和歌山県、昭和一九年四月伏見工兵連隊入営七月末ビルマ戦線祭師団工兵隊追求タイ国チェンマイにて終戦二二年六月復員、妻子共五人家族、佛竹中工務店、一級建築士魚釣り、庭いじり、若輩です。乞う御指導。

勝又広基 三八師南支広東、緬独輻五一第三中指揮班班長、一九四五年後泰、緬監獄二二年復後議會厚委員長二期、軍傷長、商工会長に至り、新聞販、青春捧終緬記録を残度、静岡小山、写真、妻五十三。

土井次夫 六四。愛知県出身。名医大卒。医博。現在内科開業医支那事変時、「第一兵站司令部

生を得た事あり、貧者の一燈ですが最後までお返ししたい。安成維良 ウ号作戦前シュエホに療養所を開設した時ウ・トン・ペーと云うクリスチャンの大精米業者が自分はノーペトルだからと云って私にオースチンを寄贈して呉れたので早速それに乗って明妙百七兵病本院迄何度か往復した事を想い出して感謝して居ます。元百七兵病軍医 大尉 棚 久 大正六年台湾台中市出生、台中二中台北高商大阪商大昭十六年卒、ビルマ方面軍自動車廠付主計中尉で昭十八・二十一年在緬、二男一女あり。青木建設東京本社勤務。読書映画。ビルマ人のよい処、花が好き、食物の接待、洗濯好き。

附軍医「北支、台湾へ大東亜戦時、「独立騎重兵第五十一大隊第六中隊」(騎百七兵站病院)「第五工兵隊司令部附軍医」泰ビルマ、印度へ従軍。家族三。本人、妻、次女。

石村 卓 年令明治三四・四・二〇生 満七十一才
出生地 愛知県豊橋市伝馬町四六
略 歴 陸士35期、関東軍幕僚陸士教官、十一工兵司令部員、十一軍幕僚船工十一連隊長、現在土建会社員

軍 歴 昭和十八年十一月高雄にて連隊編成一九九年三月、ビルマに進駐ビルマ方面軍の隷下に入り、後二十八軍の指揮下に入りタンガッパに位置しアキヤブ正面の軍隊軍需品の輸送に任じ終戦に至る。

趣味 漢詩
針本英和 ビルマの空を護つたあの頃がまだ面のまぶたにこびりついている。シャン高原のヘホ飛行場に進入してきたプリストル・ボーハイター北部の山なみを背に超低空で銃砲撃をしかけてきた砲重戦斗機。一瞬我が高射機砲陣地が火を噴きこれを叩き落したあの日……飛行場には隼の加藤戦斗機隊と明日のカルカッタ爆撃行の鷹翼を休めていた我が飛行第八戦隊の九九双軽の精銳がたむろしていた。

八江正吉 菊部隊のミチナ籠城戦に連隊情報主任で苦闘重傷しジャングルを匍いイラワジを流木で降り生存、王族で時のミチナ

豊知事と親交を結び二回訪緬、ミチナに鎮魂碑を建てた。体験記「イラワジの誓い」を書きパゴダ建立計畫中。

岡本正美 本籍兵庫県神崎郡市川町下牛尾二九九番地

現住所 同右 下牛尾一五ノ一
復員後現住所に在住、酪農業、昭和三十五年迄冬期間、神戸東灘魚崎酒造K・K精米所主任として勤務。冬は狩猟又一人でふらつと旅に出るのが好きです。昨四十六年十一月ビルマ明妙会のビルマ慰霊団に参加。

ランゲーン、マンダレー、メイミョウ、ラムレー島にて慰霊祭終戦知らず戦友三名とラムレー島に居て八月二十五日収容。

岩内健二 なにかとごころうさまです。私、「日本拓殖学会」に「ビルマの文化と教育」という小論文を載せましたので、そのコピーを別便で送らせていただきます。ビルマの理解を深めるために、何らかのご参考になれば、と存じます。昭和四十年四月から二年間、在ビルマ日本国大使館付属日本人学校に勤務しておりました間に、ビルマに関する文献類もかなり買ひ求めて帰国しましたので、それらの文献、書籍、資料等をご活用なりたい方には、その旨、お申し出下されば、最善の努力をいたすつもりです。日本ビルマ文化協会の発展を心より祈っております。

松田正純 大正二年東京生、十五年陸軍幼年学校入校昭和八年少尉、滿州中国に七年十九年からビルマ作戦参加二十二年帰国、米軍勤務十三年、現在東南ア研究に従事、家族は妻男子二、趣味は俳句、語学、親友の遺志を体し、ビルマとの親善に微力を尽し度し。

伊福満男 出生地ハワイホノルル南キング街モイリリ三才頃帰国。小学校高等卒、クリーニング徒弟。現役編入に依り、久留四八連隊後、大東亜戦にビルマ勘定作戦従軍、雲南省よりビルマ軍指導要員として「ランゲーン」にて勤務、終戦後復員、現在クリーニング自営。以上

植田正六 五五才。神戸商業卒。神戸市ピカソ、モナ化粧品会社各十年勤務渡航、ビルマ二回東南アジアインド中近東北アフリカ商用現役、昭十二、近歩三連隊四年召集、鳥取歩一二一連隊六年軍曹、妻長男ヤナセ、次男一浪、現在化粧品外輸出入商。

稲垣照相 医師、医博、産婦人科病院経営、元陸軍々医中尉、ビルマ派遣独立輜重兵第五十一大隊第二中隊附、ビルマ国民は極めて親日的で人情味豊であった私には終生忘れることの出来ないビルマである。日本とビルマが何時までも友好国として発展し、世界平和に寄与してもらいたい。

桑原真一 京に生れ、京に育ち、召されて祭歩兵としてインパール戦へ。後ビルマ各地を転戦す。殺戮飢餓病魔等人間悪の窮極を味い辛じて生残る。戦前は死

の真隨を学び戦後は生の原点を思考す。戦争と平和、人間の美と醜を身を以て体験せし京呉服商。

田中晴夫 長野県出生。京大法卒(昭一六)応召。ビルマ方面軍經理部主計中尉、終戦一年後帰国。現在日本シール株式会社勤務中。現在日本シール株式に勤務出席している。この会を挙げて入会できるようお願いしている。家庭は老母、妻と一男一女あり。趣味釣。

塚本幸一 祭六〇六中隊員として約二年ビルマの戦斗に参加しました。又エキスポでは当社パビリオンがビルマ館に接続して懐しく思い出しました。復員以来婦人洋装下着文化の発展のためワコールを創業し、爾来二十六年になります。

羽田野貢 当五八才。自宅開業医師。ビルマは第十五軍軍医部に山田正次氏の下で、インパール作戦に従う。会長の正木清氏とは兵站衛生隊を通じ極め親密にご指導を賜わる。攻撃屯坐し敗退の色濃き頃広島に転任し、原爆に遭う。

松原孝善 中支及びビルマに従軍インパール作戦に参加。昭和二十年三月七日、マンダレー北方カバインに於て連隊本部、敵戦車の襲撃をうけ、三日二夜敵中を彷徨せる際、ヤンヒル北方小部落のボンジに助けられ友軍に合流、幸に今日あるを得たり。元 祭部隊歩兵第六十七連隊附軍医少佐

現在 香川県立中央病院副院長 溝口 功 福岡県糸島郡志摩町小金丸ビルマ派遣第四十九師団(狼)司令部参謀部附(前福岡陸軍予備士官学校卒)現在福岡西郵便局保険課勤務、福岡狼ビルマ会監事趣味読書、草花作り家族五名中学三年生の次男を残し、四名夫々就業している。

浅井 哲 仏教の国、ビルマの人々と私達日本人とのつながりは同心同色の民族と云うよりも、私は亡き戦友十八万人余が今日もビルマ人の深い理解と温い人間愛によりあの美しい花咲くビルマの山野に静かに眠らせていただいている事に永久のきづながあると思う従つて私はビルマの国は日本人にとつては聖地靈園と思つている。

松久保秀胤 奈良薬師寺の僧侶です。仏教がインドから東へ伝播する時、南海経路を通るとビルマに入る。仏足跡を通じてその経路を調べたいのが私のビルマに対する唯一の関心です。従つてインドは五回訪問しました。次はビルマです。

川瀬宗雄 昭和十六年十一月名古屋において編成の三七五一部隊にセイン地区にて輸送業務。昭和二十二年五月帰還。地方公務員を定年退職後、親戚の病院に事務長として現在勤務。中孝子意志の滴で名高い山紫水明の地に住んでいます。

栗原栄一 昭和十八年一月より、ランゲーン、トングー、カロー

ランゲーン、トングー、カロー

メークテラ、モトルメン転戦二十年四月泰緬国境通過、バンコック、コラート、ウボンを経て仏印パクセにて終戦、サイゴン集結後二十一年五月鹿兒島上陸復員(第三航空通信連隊)昭和四十七年一月、ランゲンバガン、マンダレー、シウエゴベグー等戦跡巡拝。現在建築設計事務所経営、二男一女の父親ビルマ三航通会事務局長。

永坂三夫 烈二野病附軍医中尉でインパール作戦に従軍。鳴海病院副院長。偶々ビルマに従軍した縁によりビルマ民族の文化等に関心を持つ。

馬場新平 一九九年三月インパール作戦に苦斗するビルマ方面軍經理部へ単身赴任。人違いと判明翌二月独混七旅(貫徹)独歩五四二大隊(和歌山歩六一の後身)隊附主計としてイラワジ会戦、シタン作戦に参加九死に一生を得る。

山口諦存 昨年十一月復員以来の念願、ビルマ戦没者慰霊の旅を果すことができました。

然し待望の遺骨収集などは行うことができませんでした。沖縄が返還されても、まだ日本は戦争終局ではないのです。ビルマの問題が未解決のままです。

岡本 敏 昭和十六年八月二日応召す、広島西部第十部隊、独自第二八〇中隊満洲奉天、仏印平和進駐、マレーコタバル上陸シンガポールを経て昭和十七年三月二十五日ビルマ上陸ビルマに

ては第五飛行師団配属自動車輸送の任務、元陸軍兵長。追手門学院大学東南アジア研究会私達東南アジア研究会は発足して四年になります。東南アジア全地域に就ける基本的な諸問題を調査、研究し、我が国とそれ等の国々との相互関係を更に緊密化していくことに貢献することを目指しております。

有田徳五郎 大正八年七月大阪で出生、近歩二、歩一、九を経て昭和十九年、第五十三師団副官として、ビルマに進駐。目下京都市内において税理士事務所開設、京都ビルマ会副会長として会のお世話をさせてもらっています。

増倉唯一 昭和十八年第五特設隊軍属。マルタバン線ニンパレ、モバリン、ナンパテヤ、マンダレー線ベンザロック各駅長歴任、一人勤務だったのでビルマ人になり切つて共に戦争を闘つた。今でもビルマ語と習慣の生活が忘れられない。ビルマ人の人情で命があったと信じ知人も多く、また会いたい。

林 諄 鳥取市吉岡温泉町軍歴兵第五四師団歩兵第一二一連隊家庭状況妻一男三女特有の技能水力発電所変電所の建設運転電気機械工事、抱負、努めて長生をすしビルマに対し報恩感謝の微事を尽したい将来技術援助隊が結成されれば訪緬し人の道を果したい。

石塚寿男 石松でご存知の遠州森町に近い田舎の家庭医で、菊兵

団防疫給水部の軍医でした。鬼頭発起会員とは同期生です。一昨年と本年、戦跡巡拝団に加わり訪緬。万博では、酒井さんをビルマの人と間違つたそそっかしい仲間一人です。

中村源三 元第二六野戦防疫給水部インパール方面はビセンブール街道三十六哩地点まで進行。戦後ビルマ訪問二回。四十七年二月七日戦友の遺骨(インタンギーにて収集)を抱いて初のインパール入城する。職業会社役員。

梅原 保 戦争中は方面軍司令部管理部付の主計をしていた。ビルマのビの字をみても懐しいというビルマ狂。文化協会の会計担当理事として目下乏しい台所が尚うすくなりそうです。皆さん助けてー!!

稲垣 清 元五三師(安)司令部、昭和十九年三月入緬、終戦に至る間各地を転戦、終戦後蘭貢アイロン収容所に在り、二十二年七月復員、マンダレーは実弟病歿の地で元郡長ウ・キン・モン・テイン氏等親友あり、特に想出多き地、先年慰霊団の一員として同地訪問、旧交を温めその後文通しておつたが去る、四月十三日急逝の報に接し誠に哀惜の極み。

ビルマ情報

外貨獲得に一役を担う映画館のスライド広告

一九七二年四月に文民内閣を組閣して以来、ネ・ウイン政権は積

極的に内外政策を推進している。外交面ではウ・ルイン経済企画大臣を中国に、さらにマウン・ルイン貿易大臣をソ連に訪問させて成果をあげ、また内政面でも新憲法制定のためのスケジュールを進展させると共に、農、工業の近代化を促進している。

特に経済政策では、石油開発による外貨獲得に重点を置いているようだが、最近政府が外貨獲得に對して積極的になったことが注目される。

これは、昨年政府が日本の森永乳業の育児調整粉乳(粉ミルク)を購入した機会に、この粉ミルクの使用法を森永乳業のスポンサーで、新聞広告をしたが、広告の主旨が徹底されて好評であった。そこで本年国際入札で決定する約一億円の粉ミルクを納入する日本側業者(森永乳業、明治乳業、雪印乳業)では、この使用法の説明を映画館のスライドを使用し、PRする計画をビルマ側と交渉中であるが、ビルマ側はこの許可をする公算が強いようである。現在までは映画館のスライドは、「交通安全、火の用心」等の類であったが、外貨獲得に進出するのは初めてである。

会員、山岸正和殿、去る五月交通事故に依り死亡されました。賛助会員、山岸芳雄殿去る六月二八日病氣のため死去せられました。謹んで哀悼の意を表します。

計 報

○四七年七月二十九日、東京九段会館に於る

日緬戦友会の懇親会に、酒井副会長以下協会員多数出席

何れも協会の宣伝活動をする外日本及ビルマ人に対する親善活動に貢献した。

会員よりの通信

(会報の余白の許す限り、通信とか御意見とか、或はビルマ人戦友、遺族に関するお尋ね事項等どしどしお寄せ下さい)

明妙会、植田正六氏より

昨年暮、明妙会の戦友遺家族と共に渡緬二十七年間の悲願達成感謝。戦友七名とともに協会に入会、外大のビルマ留学生とめぐり逢い、少しでも現在の日本の社会、家庭生活をみていた。く為、化粧品会社、薬品会社、田植や法事等も見学して戴き、且ビルマの社会や風俗習慣も紹介しております。又慰霊の旅で知り合った、メイミョーの女子学生と京阪神の女子学生四〇名が文通して居ります。これは慰霊団の中西氏の努力で次の世代へのバトン・タッチかと信じています。

短 信

○四七年七月十五、十六日、高野山、成福院、摩尼宝塔に於る恒例法要に酒井、小谷副会長出席

○四七年七月二十九日、東京九段会館に於る

日緬戦友会の懇親会に、酒井副会長以下協会員多数出席

何れも協会の宣伝活動をする外日本及ビルマ人に対する親善活動に貢献した。